

度 2008 学期 前期	曜日・校時	月 1	必修選択	必修	単位数	1
授業科目/(英語名)	フランス語 I French I					
対象年次	1年次	講義形態	演習	教室		
対象学生(クラス等)	F27・28		科目分類	外国語科目(フランス語)		
担当教員(科目責任者) / E メールアドレス/研究室/TEL/オフィスアワー 担当教員:松藤 英恵/Eメールアドレス: cinema_naga2@hotmail.com /研究室:全学教育非常勤講師室 /オフィスアワー:火曜日 10:30~12:30/木曜日 14:30~15:30						
担当教員(オムニバス科目等)						
<p>授業のねらい/授業方法(学習指導法)/授業到達目標 (500文字)</p> <p>授業のねらい:フランス語の基礎を身につけること、自分に関する表現も含め、簡単なコミュニケーションが出来るようになることを目標とします。また、生きたフランス語に親しめるよう、講義ではビデオや日用品、写真などの教材を利用し、口頭やジェスチャーを使つての表現などにも留意します。また、フランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介も行います。</p> <p>授業方法:教科書、オリジナルのプリント教材の他、ビデオやCD、時事問題等の教材を毎回使用しながら授業を進めます。</p> <p>授業到達目標:簡単な挨拶、自己紹介と人物紹介を、口頭・筆記の両方で表現できるようになることが最大の目標です。文部科学省フランス語検定5級に合格できるよう指導します。</p>						
<p>授業内容(概要)/授業内容(毎週毎の授業内容を含む) (1300文字)</p> <p>授業内容(概要):</p> <p>①練習問題オリジナルプリントを使つての文法解説と筆記演習、②教科書とCDを使つての発音練習、③同じく教科書とCDを使つてのヒアリング練習、④教科書及びオリジナルプリント、ビデオ教材を使用しての実践的な会話演習、⑤日用品、ビデオ教材、時事問題他様々な資料を使つてのフランスの政治・経済・社会・歴史・文化・産業等の紹介、の5つの要素を網羅して授業を進めます。</p> <p>第1回 オリエンテーション、アルファベ、綴りと発音の確認 第2回 簡単な自己紹介 第3回 " 第4回 第1課 挨拶 第5回 " 単数と複数、不定冠詞、疑問文と答え方 第6回 第2課 出会い、国名・国籍 第7回 " 主語人称代名詞、動詞 être 第8回 " 名詞・形容詞の性数一致 第9回 第3課 コミュニケーション 第10回 " 指示形容詞、人称代名詞の強勢形 第11回 " 動詞 avoir、il y a、否定の表現 第12回 第4課 職業 第13回 " 所有形容詞、疑問形容詞 第14回 授業のまとめと口頭試験 第15回 授業のまとめと定期試験</p> <p>※注意!:上記のEメールアドレスには、一部の携帯電話を使つての送受信が出来ないことがあります。送受信できない場合は、別の携帯電話或いはパソコンのアドレスから送信し直して下さい。</p>						
キーワード	フランス語を使って、世界にはばたこう!					
教科書・教材・参考書	教科書:「P.P.P. NOUVELLE EDITION((2004年改訂版)ペー・ペー・ペー)」(第三書房) 辞書:仏和辞典を1冊、出来れば和仏辞典も購入すること。出来るだけ新しいもの。電子辞書は不可。 旺文社『プチ・ロワイヤル仏和辞典』『プチ・ロワイヤル和仏辞典』『ロワイヤル仏和中辞典』がお勧め。授業中に指示します。 なお、配布プリント、提出レポート等はすべてA4サイズに統一します。					
成績評価の方法・基準等	期末定期試験の成績 50% 期末口頭試験の成績 40% 授業への取り組み方・意欲等 10%					
受講要件(履修条件)						
本科目の位置づけ/学習・教育目標						
備考(準備学習等)	繰り返し復習することによって、フランス語を確実に自分のものとして定着させましょう。 日本のテレビや新聞、雑誌、インターネット等を使って、フランス語圏の様々な時事問題や文化などの情報に、積極的に触れましょう。					